



関西を中心として「キコーナ」の名称でパチンコ店を39店舗展開（2011年11月現在）しているアミューズメントカンパニーがアンダーツリー株式会社（本社・大阪市、木下春雄社長）です。昨

今の関西経済圏の不振やパチンコ業界全体を覆う不況

ももろともせず、果敢に新規出店を進めてお

り、いまから3年後の2014年には売上高270

0億円の企業を目指すとしています。店名「キコ

ーナ」の「キ」は「期待」、「コ」は「興奮」、「オ」は

「驚き」、「ナ」は「泣き笑い」という意味だそうです。

掲げる経営理念は「街の灯り。心の灯り。」。アンダーツリー(株)では、

福祉車両の寄贈はすでに14台にのぼる



この経営理念に基づき、社会貢献活動にも熱心に取り組んでいます。その中でも毎年力を入れて実施しているのが、高齢者や体の不自由な方が車椅子に乗ったまま乗車できる福祉車両の寄贈です。福祉車両等の寄贈は09年にはじまり、これまで神戸市、西宮市、川西市、尼崎市、豊岡市、朝来市（以上兵庫県下）、豊中市、箕面市、茨木市（以上大阪府下）、福知山市（京都府）、小浜市（福井県）、奈良市（奈良県）、横須賀市（神奈川県）の社会福祉協議会を通じて合計14台を寄贈したとのこと。

(上)ピンクリボン自動販売機は各店舗に展開予定
(下)盲導犬の育成、訓練及び普及活動にも寄与



た車両も活躍しており、寄贈された車両は日々、地域社会福祉活動の場で役立てられています。

乳がん早期発見の啓発

09年には乳がん対策の大切さを啓発する「ピンクリボン活動」に賛同し「ピンクリボン自動販売機」を、キコーナ横須賀店に設置しました。

この自動販売機で商品を購入すると売上金の一部が寄付される仕組みで、だれもが気軽に活動に参加できます。翌年には、キコーナタウン茨木彩都店にも設置、今後も各地の店舗に展開していくそうです。

また、神戸のFM放送局とタイアップし、視覚障害者をサポートする盲導犬の育成、訓練及び普及などを行う、兵庫盲導犬協会の活動を紹介しました。ユニークなこの試みは、大きな反響を呼び、各店舗にて実施している募金箱の設置と共にその活動に寄与しています。



本年はこれら通常の社会貢献活動に加えて、3月11日に発生した東日本大震災の被災地支援に会社として3000万円の寄附を実施し、同時にグループ全店舗においてもスタッフ・お客様から義援金を募り、集まった義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送りました。

「常日頃、お世話になっている地域の皆様に対して、少しでも恩返しができる。常にそういう気持ちを持って取り組んでいます。今回の東日本大震災を機に地域社会における『絆』や『つながり』の大切さが再認識されています。我々の社会貢献活動も地域の皆様とより深い『絆』や『つながり』を築くための一助になれば、と考えております」（総務人事部・井上大嗣氏）。

アンダーツリー(株)は今後も企業理念の「街の灯り。心の灯り。」に基づいて社会貢献活動を積極的に実施していきたい、としています。